

7月18日、早朝22名が参加して沢渡を経由して上高地へ向かう。雨模様の中、上高地で登山準備を整え、AM7:45 出発。明神、徳沢と林道を進み、AM11:15 横尾に到着。雨中に傘を差し昼食を摂る。



昼食後、梓川に架かる橋を渡り、河原沿いの小石道を進む。左手に屏風岩を仰ぎ、登り1時間ほどで本谷出合の沢に架かる小橋を渡る。ここからは、急な岩道の登山路が続き、ナナカマドの低木帯を抜けると残雪を踏む。前方に重量感のある奥穂高岳が思ったより近くに連なっている。雪渓を登り続け PM3:00、涸沢ヒュッテに到着、泊す。

ザイテングラードを登る



風に揺れるハクサンイチゲ



涸沢に残る雪渓

翌19日、夜来からの雨が降り続く。天候回復を諦め、雨具を着用し AM6:45 奥穂高山頂の西にそそり立つジャンダルム 3163mを目指して出発。涸沢小屋前を抜けて、視界の効かない雨中、固い雪渓を登り、ようやく1時間程でザイテングラード取っ付きへ到着。いよいよ雨本降りとなるが、ここから岩場を登り続けること1時間30分、AM9:30 穂高岳山荘に辿り着く。途中岩陰に、風に揺れて咲くハクサンイチゲのいじらしくも可憐な姿に心動かされる。

一息入れて出発するが、霧雨の中、風速約30mと思われる冷たい強風が岩場に吹き続けていて、暫らく山荘内で待機し思案する。しかし強風止まず、とうとう登頂を断念。AM11:30 山荘から下山と決定する。慎重に岩場を降り、雪渓を下り、PM2:30 涸沢ヒュッテに到着。生命の危険を感じさせる厳しい自然状況を回避した判断を優先としたが、口惜しい登攀となった。



涸沢ヒュッテで記念撮影

3日目20日、朝陽が穂高の峰々を橙色に照らして昇る。皮肉にも今日は下山日だ。登頂は、次の機会を待つ事とし、お世話になった涸沢ヒュッテの山口さんにお礼を言って AM7:30 下山開始。AM10:00 横尾、PM1:00 上高地で昼食を摂り、タクシーで沢渡へ向かい、最終 PM3:00 松本で解散とした。「大きな自然に敬服する登山」だった。